



「学校給食甲子園」に出場する草加・西町小の今井教諭（左）と小林調理員（下はエントリートした給食メニュー）



「学校給食甲子園」に出場する草加・西町小の今井教諭（左）と小林調理員（下はエントリートした給食メニュー）

「学校給食甲子園」に出場する草加・西町小の今井教諭（左）と小林調理員（下はエントリートした給食メニュー）

「学校給食甲子園」に出場する草加・西町小の今井教諭（左）と小林調理員（下はエントリートした給食メニュー）

「学べ舎」がスタート

三郷・南中 放課後の学習支援

三郷市立南中学校（広木友和校長、生徒393人）はこのほど、学習支援サポーターたちによる放課後学習教室「学べ舎」をスタートさせた。

生徒に学ぶ楽しさを味わってもらふことを目的に、同中学校区青少年育成会、同校友会、同PTAなどの「南中学校放課後学習教室『学べ舎』実行委員会」が主催・運営している。

毎週火曜、月2、3回のペースで来年3月までに計16回開く予定。1回は約90分。学習支援サポーターは、元教員、塾講師や卒業した

同校OBの高校生や大学生など5人。国語、数学、理科、社会、英語の5教科を指導する。

1年生から3年生の希望者20人が参加しており、1日ごとの目標も決めて学習に取り組んでいる。

「わからないこと、できないことは恥ずかしくないことを理解してほしい。サポーター1人、生徒1人でも始めようと思った」と広木校長。

こうした試みは、千葉県館山市や東京都江東区中学校などで行われているが、県東部では珍しいとい



元教員らの学習支援サポーターが5教科を丁寧に教える「学べ舎」

う。特に参加者の親子から「同意書」を提出してもらい、下校時の安全面にも配慮している。

参加した2年の福越翔君

（14）は「集中して勉強できるようになった」と話し、1年の倉井茜花さん（13）は「中学生の勉強は複雑で難しいが、考え方が分かる

野菜の宝船もみさと産業フェスタ三郷市役所南側の市民広場と勤労者体育館などで16、17日の2日間、「みさと産業フェスタ2019」（商工まつり・農業祭合同開催）が開かれ、延べ約4万4000人（主催者発表）でにぎわった。



商工まつりでは、ギリシヤのホスト国をイメージした、同市マスケットキャラクター「かいちゃん」の特製ミニ升付き限定特別純米酒「におどり」（7200円）や、市内特産品や製品

グランプリに宮原さん

草加宿場まつり 大名行列写真展

「草加宿場まつり大名行列写真展」の入賞、入選作品が、このほど決まり、6日から12月2日まで、草加

写真展が開かれている。写真展は、「第17回草加宿場まつり実行委員会」（大川久夫実行委員長）が一般

人留学生ら約60人が参加し

点が集まり、審査の結果、グランプリの「大川図書賞」は宮原弘弘さん（83）（草加市手代二丁目）の「笑ってお姫様」が受賞した。すまし顔の3人のお姫様を写したものの。また、「東武よみうり新聞社賞」には、芭蕉や曾良に扮した子どもたち

【最優秀賞】大川図書賞「笑ってお姫様」宮原弘【入賞】東武よみうり新聞社賞「奥の細道330年」

（72）（同市松江二丁目）の「奥の細道330年」が選ばれた。

受賞者は次の通り（敬称略）。

治▽「芭蕉さんの一句」井坂次男▽「笑顔」吉田美幸▽「ひと休みじゃ」鈴木伸▽「雨なんかには負けないよ」加藤昭宏▽記念写真「大名行列全員集合」草加宿場まつり広報委員会。